

いたいのいたいのとんでいけ～



こどもの様子

- ・声かけに反応する
- ・養育者の声を聞き分ける
- ・指差しの方向に視線を動かす

こどもは痛いときに、慰めてほしいのです。これは、「いたいのいたいの～」とこどもの心に共感しながら、「とんでいけ～」と勢いをつけて元気付ける言葉です。こどもは、この言葉で、不条理に痛くなった自分の身体も、勢いでなくすることができることを知るので。セルフ・カウンセリングを体感させるということでしょうか。実際、リズムカルな大人の言葉に気を取られているうちに、痛みが和らぐ時間でもあるのです。歩く前から十分できます。

こんな場面で

- ・ころんでオデコや手足をぶついたり、擦り傷をしたりして、痛がっている気持ちを切り換える
- ・泣いているときになだめ、気を紛らわしたい